

全国P大会で表彰される

会長 丸田 一也

晴天の下、八月二十四日(木)、第六七回全国高等学校PTA連合会大会静岡大会にて会長表彰(団体)授賞式に参加しました。

日頃から会員皆様からの心強いご協力ご支援を賜り、ただけのものです。あらためて感謝申し上げます。

約一万人が集まった非常に大規模な大会で、会場の静岡県小笠山総合運動公園エコアリーナの広大な会場と人の多さに圧倒されました。二〇一九年開催予定のラグビーワールドカップの一つの会場として指定されている場所でもあります。

今年東北は例年になく雨が降り続き、農作物への影響が心配された状況でしたが、静岡県はしばらく雨が降っていない上に真夏日が何日も続いていたとの事で、地域による気候の差を感じました。

アトラクションとして、静岡県立横須賀高等学校生徒達による「三社祭礼囃子」が披露され、おかげ、ひよっとこ、般若のそれぞれがひよっさんでコミカルに絡み合う踊りを楽しく拝見させていただきました。練習も相当地こなしていたと思われ、



素晴らしい舞台でした。本大会テーマは「有徳の人」づくり。未来のために行動する「一人」を育てようです。有徳の人とは、個人として自立した人、人との関わりを大切に人、人、より良い社会づくりに参画し行動する人を差す言葉で、自分を高め、当たり前に出来そうである出来ない人間が多いこの世の中に警鐘を鳴らす感慨深いテーマではないかと思えました。激動のこの時代、国を越えて相手を思いやらない事も数多く起きています。有徳の人となれるような言動、行動を心がけ、コミュニケーションを大事にして、まずは自分の身の回りから幸せに楽しく過ごせる環境を作っていくことではありませんか。早いもので、今年度も残すところあと半分です。会津の寒さがやってきましたのでご自愛ください。

学年保護者懇談会について

各学年で保護者懇談会が開催され、多くの方に参加いただきました。今回は、一学年と三学年に報告していただきました。



(1学年)



(2学年)



(3学年)

今年度の一学年保護者進路講演会は五月二十七日(土)会津大学において「入試制度と保護者の心構え」というテーマで河合塾の細川幸俊氏に講演いただきました。高校一年生は将来について考え文理選択をする時期であり、自分は大学で何を学びどんな知識を身につけ、将来どんな職業に就きたいか目標を持つことが大切である。二人に一人は大学進学を希望しているが、明確な

目標もなく何となく大学に入った学生は留年・退学する傾向があるとのこと。志望大学合格の秘訣として①早期の志望校決定②家庭学習習慣の定着③自分の学力を把握し対策をする④最後まであきらめないモチベーションを持つなどが挙げられました。入試制度がめまぐるしく変わるため親も学ぶことが大切。子供に対して支配的になりすぎず、子供の相談相手になるという言葉が印象に残りました。高校生活がスタートして三ヶ月が経過しました。時には一緒に悩みながら共に成長していく三年間でありたいと思えました。(進路対策委員 柴田 美智)

六月十日(土)、労働福祉会館にて三学年保護者懇談会が行われました。「推薦入試とAO入試」をテーマに斎藤功先生が講演を行い、保護者約一三〇名が熱心に耳を傾けていました。推薦やAO入試の種類、それぞれの利点と問題点、合格した卒業生の高校在学中の生活の様子と経緯について具体的に教えて頂きました。いかに早く自分の志望を明確にできるか、ありとあらゆる可能性に向け、積極的に行動する事ができるかが重要だと感じました。推薦で合格できたらどんなに楽か……と安易に考えてしまう事もあります。が、思うような結果が得られず一般入試に切り替える際の心理的リスクが小さくないこともわかりました。推薦やAO入試に挑む際の計

面性と自己分析、プレッシャーに打ち勝つメンタル強化の大切さは、一般入試にも共通する重要なテーマだと思えます。親として、時には親身にも、時には冷静に、根気強く我が子を支えることが大切だと改めて考えさせられました。(三学年副委員長 小林美和子)

編集後記

最後の最後、編集後記までお読み頂き誠に有り難う御座いました。お弁当特集へのご協力も重ねて御礼申し上げます。

ところで、十八歳以上に選挙権が拡大されてから初の衆議院選挙になり、新聞を隅々まで読んで学んだ生徒さん、生徒さんからの質問で政治に関心をもった保護者も多いと思います。

政治と言えば日本の内閣には大臣がいりますがアメリカや中国にはいません。他に大臣がいる国を探してみるとイギリスが挙げられますが、大臣は日本とイギリスにあつてアメリカ、中国にはないものなのです。

気がついたと思いますが日本には天皇陛下、イギリスは女王陛下がいらっしゃる。つまり、王朝由来の国においては、国政を司る重要な官職を大臣と称し、それゆえ、共和国や共産主義国家には大臣がいりません。これらの国で、大臣相当職はアメリカでは長官、中国では部長と訳されて報道されます。

このことが分かるとテレビや新聞でアメリカの長官や中国の部長さんの動向が大きく報道される理由がよくわかると思います。

次号は卒業関連特集の予定です。(広報委員長 磯貝 太)